テレワークのような実際に会う機会が少なくなる働き方においても、電話をかけると同時に映る PC 画面上の相手の表情などにより、会話のニュアンスを感じながらコミュニケーションすることが可能となっています。また、いくつかの拠点をもつ企業では拠点間のコミュニケーションツールとしてテレビ会議を導入するケースがあるかと思いますが、テレビ会議とテレビ電話を連携させて拠点間の遠隔会議に自宅などから、テレワーカーが参加することも可能となります。

ー Web 会議機能

Web 会議機能により、離れた場所にいる者同士がネットワークを通じて PC の画面やファイルを共有することが可能になります。同じ画面を共有しながら電話をしたりすることで実際に会って打ち合わせをしていると同様の業務が遂行可能となります。さらには遠隔地間で同じファイルを共有して共同作業を行っていくことも可能です。

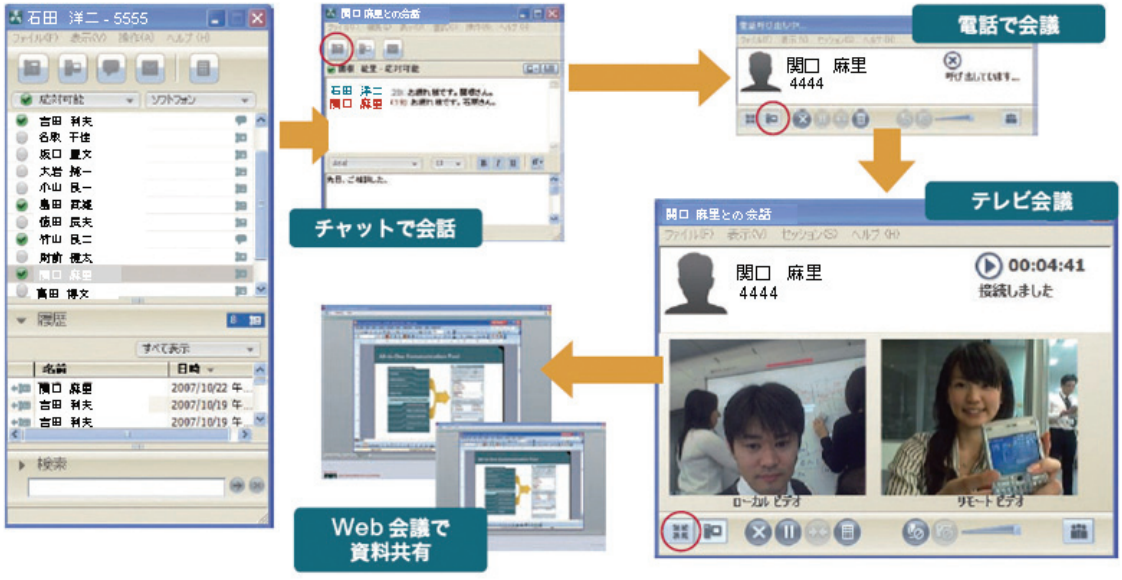
図表 7-12　Web 会議イメージ

ーコミュニケーションの入り口となるツール

円滑なテレワーク環境を構築するために、様々なコミュニケーションツールがありますが、その時々でどのツールを使うべきかの選択や、それぞれのツールを使いこなせるかという心配が生じる場合もあります。そのような問題への対策として、最近ではツールを統合して連携させて使うという考え方があります。

これは、様々なツールを呼び出すためのポータル画面を入り口として、コンタクトしたい相手の検索、その人の状態の把握、適切な通信手段の選択、映像利用の有無、そして資料の共有などを簡単な操作で実現するものです。このような中断のない遠隔地間でのコミュニケーションを実現することがテレワークを効果的に導入するために必要なこととなります。

図表 7-13　ツールの連携による円滑なコミュニケーション



(4)　テレワーカーの就業イメージ

ポイント
☆テレワーカーが行う仕事、進め方をシュミレーション
☆オフィスで通常行われているコミュニケーションをテレワークでも可能にすることが重要

『どこにいても会社の自席にいる場合と同様の仕事環境が得られる』ようにすることがテレワークで ICT を活用する目的となりますが、実際にテレワーカーがどのように仕事を行っていくかの業務イメージをご紹介します。